

外国人財と働くために必要な
多言語対応・共通言語対応
“オリンピックレガシー”を
人手不足に悩む全国の職場へ

インバウンド 職場におけるICT活用
“すごい組織改革”
“すごいカイゼン”
“すごいサービス”を
オールジャパンで共有

2020年、オールジャパンで共有する外国人財の“オリンピックレガシー”

政府は外国人労働者受け入れ拡大に向けて政策を大きく転換しました。2019年4月に在留ビザの「特定技能」の施行、5月に「特定活動」の告示改正と続き、着々と受け入れ体制の整備をすすめています。オリンピック・パラリンピック開催招致に成功した1993年を境に外国人雇用状況も大きく変わりました。インバウンドのビッグウェーブの到来です。外国人労働者数も68.2万人から146万人に2.1倍増となり、インバウンド接客現場や人手不足に悩む職場ではなくてはならない戦力になっています。そこで得られた外国人との職場コミュニケーションインフラ構築のノウハウは、非常に貴重な財産です。インバウンドの職場には成功も失敗も含めて多くの外国人コミュニケーションノウハウが蓄積されています。

似ているようですが、外資系多国籍企業の日本支社や、元海外駐在員を抱える商社のノウハウは、ほとんどの日本企業には真似ができないため役に立ちません。世界共通言語である英語を経営者以下、社員全員が共通言語として使うという前提が、多くの日本の職場には合わないからです。これまで日本企業は、外国人には非常に難解な漢字・ひらがな・カタカナまじりの日本語を高度人材に強いるか、一部のグローバル企業が英語公用語化をするか、限定的な形でしか外国人を受け入れることができずにいました。

そこに彗星のごとく登場したのが、AI翻訳です。インバウンド職場や先進的な職場は“対訳日本語”で話し、音声合成や字幕翻訳を駆使しながら、インクルーシブな職場づくりに成功しています。AI翻訳技術をベースにした画期的なサービスも続々と登場しています。これらこそが英語が苦手な日本人が多いほとんどの日本企業が必要としているノウハウです。「外国人スタッフの受け入れは現場の受け入れ体制ができていないので難しい」と嘆く企業の多くは、オリンピック招致が決まってからおきている市場の変化や AI翻訳によるイノベーションによる解決策が登場していることが知りません。AI翻訳やITツールを駆使しながら、外国人材と一緒に働けるコミュニケーション環境を構築することを“オリンピックレガシー”としてオールジャパンで共有すべきと考えました。

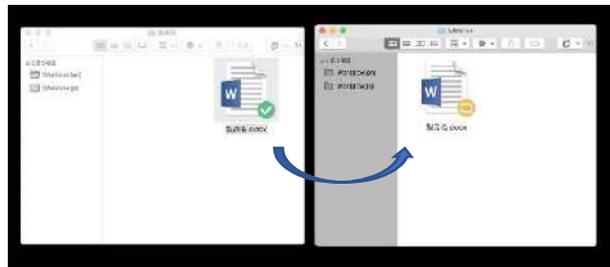
日経BPでは、今年も「インバウンド・観光ソリューション」を地方三都市で開催します。2020年のテーマは「オールジャパンで共有する外国人財の“オリンピックレガシー”」とし、外国人コミュニケーションインフラの課題解決のために必要な「すごい組織変革」「すごいカイゼン」「すごいサービス」を情報提供する場として開催します。日本企業は外国人材との職場づくりに悩み、またはあきらめかけている多くの企業の情報戦略部門、事業部門、経営者に対して、貴社製品・サービスを利用することが、訪日外国人向けビジネス拡大や、営業改革・組織改革、外国人社員とのコミュニケーション環境改善に役立つことをアピールいただきたいと思います。

また、地方開催なので、インバウンドや在留外国人とのまちづくりを通して地方創生を実現しようとする関西・九州・札幌地区の自治体担当者に直接アピールする貴重な機会となります。この展示会を通じて、「通訳・翻訳テック」や「外国人コミュニケーションテック」といった新しいテックビジネスの潮流をみなさまと一緒に情報発信して参りたいと思います。本展示会への出展をご検討いただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

インクルーシブな職場づくりを実現するサービスを外国人受け入れで困っている職場へ



AI通訳機による音声翻訳 外国人接客で売上アップ
多言語クラウド通訳、AIチャットとともに
“接客現場の困った”を解決



資料をドラッグ・アンド・ドロップするだけで
“魔法をかけたように”翻訳済ファイルが
自動生成されるクラウドストレージも登場
多国籍社員間のスマートなファイル共有環境構築



リアルタイム字幕翻訳で会議が変わる！タブレット・スマホ
全員持参で議事録を共有 母国語での手元確認も可能



←製薬会社での先進事例

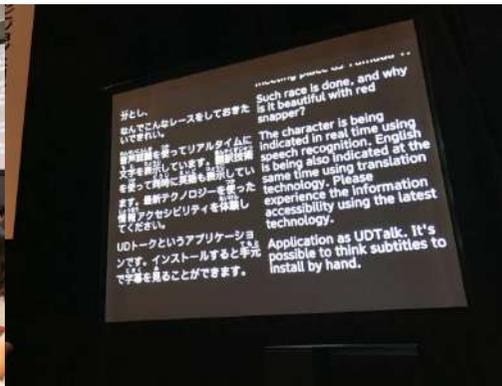
社内グローバルカンファレンスに、中国・米国
社員も参加。社員が日・英・中での機械翻訳結果を
その場でリアルタイム訂正 & 専門用語登録しながら実施



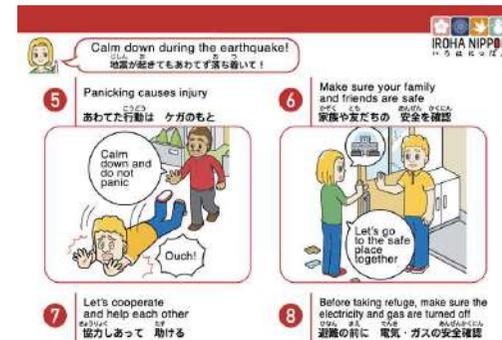
自治体でもすすむAI翻訳の導入
行政サービスの品質向上に不可欠
浜松市はラグビーW杯時に500台一括購入



英語公用語／Englishnizationはさらに高いステージへ
R社は「ダイバーシティ」「インクルージョン」の実現
のために企業文化や組織開発に特化した研究所を設立



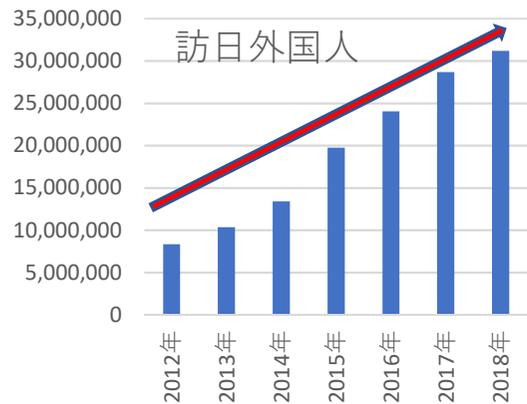
展示会「ヒューマンキャピタル2019」外国人雇用協議会のセッションで「リアルタイム翻訳字幕画面」
を投影。ルビ付やさしい日本語 & 英語字幕のリアルタイム翻訳は今後多くの職場で採用がすすむ予感



あるコンビニは運営マニュアルの多言語対応や
をやめて、やさしい日本語マニュアルに一本化

2012年→2019年 オリンピック招致に成功してからこれだけ変わった①

訪日外国人、在留外国人の増加でまわりはすでに外国人だらけ
 企業経営に“インクルーシブな職場づくり”が求められています。
 外国人コミュニケーションインフラを整備することがその第一歩



オリンピック開催決定は6年前の2013年9月。
 訪日外国人は2012年の約830万人から2018年に約3120万人で約3.7倍
 (平均滞在日数: 9.1日) ※日本政府観光局 (JNTO) 公開資料



日経ビジネス2019年
 8月19日号 P42より



外国人労働者数は68.2万人から146万人に2.1倍増 厚生労働省公開資料



日経ビジネス2019年10月14日号 P16より

AI翻訳で翻訳精度が劇的に向上 対訳日本語で職場で使えるレベルに 世界は翻訳イノベーション2.0のまっただ中

Revitalizing inbound workplaces through AI Translation Innovation

「外国人向けビジネス」および「外国人と日本人の職場」で最大の障壁となっていたのは、言葉の壁でした。しかし翻訳技術の世界ではGoogleが主導して、「ニューラル機械翻訳」や「トランスレートトロン」などの画期的なイノベーションをおこして、外国人接客現場を劇的に変えています。

ベトナム・ホーチミンの土産物屋で応対してくれた販売スタッフはスマートフォンアプリで映像翻訳・音声合成を見事に使いこなして接客してくれました。その場でベトナム語の商品ラベルを翻訳、日本語音声の読み上げで、知りたい情報を入手。納得、感謝してその店で土産を買いました。施設・店舗で、そして職場でも通訳・翻訳ツールを使いこなしながら外国人とコミュニケーションすることが当たり前のビジネススキルとして求められる。そんな時代が目の前にきています。世界は今、翻訳イノベーション2.0の真っただ中にいます。



自動翻訳機、1人1台時代へ 観光・交通で活躍 自動翻訳の術撃(下)

コナム (テクノロジ)
2019/9/25 2:00 【無料会員登録】



ソースネクストが開発した自動翻訳専用端末「ポケトワークW」

Sources of Innovation
日経エレクトロニクス

人工知能(AI)を用いた「ニューラル機械翻訳(NMT)」登場のインパクトは、プロの翻訳業界から、より一般的な翻訳/通訳用途へも広がっている。代表例がソースネクストの「ポケトワークW」のような自動翻訳専用の端末だ。

Sources of Innovation
日経エレクトロニクス
NIKKEI ELECTRONICS
9 September

Breakthrough 11.5
**AI翻訳が人間超え
言葉の壁
崩壊へ**

Emerging Tech & Biz 11.5
現実離れなこだわりの逸品
Oculus Quest を徹底分解
「データで稼ぐ」ロボット革命
NBCや日立が仕掛ける
AppleへのQualcommの策謀
Intelが量子演算システム開発

Hot News ニュース
AppleがIntelのモトモ事業買収
Qualcomm、Huawei対抗か
ピンジや保潔機の改良で9月出荷へ
Samsungの折り畳みスマホ
CPUの1000色高速、1万倍高効率
Intelが量子演算システム開発

Perspective 11.5
「こんな」PWAが欲しい！
得意でかたで応える方式が浮上
応用・部材との一体設計で
パワーエレクトロニクスが進化

48Vから1Vへ一気に変換
フライイングスタートで
パルス幅9ns

https://nikkei.jp/NE

AI翻訳が人間超え、言葉の壁崩壊へ

ついに声から声へテキストを介さず翻訳へ

Googleは2019年5月、テキストを介さず話者の言葉を直接、別の言語の言葉に翻訳する技術「トランスレートトロン(Translatotron)」を開発したと発表した(図A-1)。既に、既存のニューラル機械翻訳(NMT)と大差ないBLEUスコアを得ているという。これまでの機械翻訳はすべて、音声その言語のテキストに変換し、そのテキストを別の言語に翻訳。最後にそれを音声合成で発話させる手順を経ていた。様子をつなぐようなプロセスであるため、「カスケード翻訳」とも呼ぶ。

トランスレートトロンの特徴の1つは、発話者の声を翻訳側でも再現する点だ。これまでではさしたる理由もなく、男性が話しているも女性の声に変換されてしまうことがあった。機械翻訳への違和感がより小さくなる一歩になる。

今回の技術のメリットはまだある。言葉の変換プロセスが少ない分、遅延が減り、雑音混入や誤りなどが発生する確率も下がる。加えて、テキストになりにくい情報、例えば声のトーンや抑揚、ため息などの情報も、翻訳に生かせるようになる。

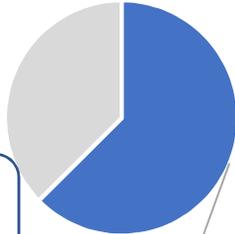
図A-1 ここでも注意機構が活躍
トランスレートトロンのアーキテクチャーを示した。DNNは今や古典的なLSTMベース。ただし、注意機構を用いているため、翻訳精度はBLEUスコアで、音声を一語テキストに変換する「カスケード翻訳」の最新技術にあと数ポイントのレベルに迫っているという。(図: Googleの資料に本誌が加筆)

2012年→2019年 オリンピック招致に成功してからこれだけ変わった ③

2020年は、共通言語としての“やさしい日本語”の企業利用の元年に 海外・訪日外国人への情報発信⇒多言語 在留外国人との情報共有⇒共通言語

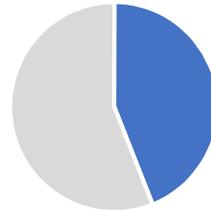
国立国語研究所 生活のための日本語 全国調査

■ 日本語が理解できる



日本はアジアの一国
国内では外国人＝英語という思い込みは捨てなければいけません。

日本国内在住の在留外国人が理解できる言語として、「日本語」は62.6%、「英語」は44%

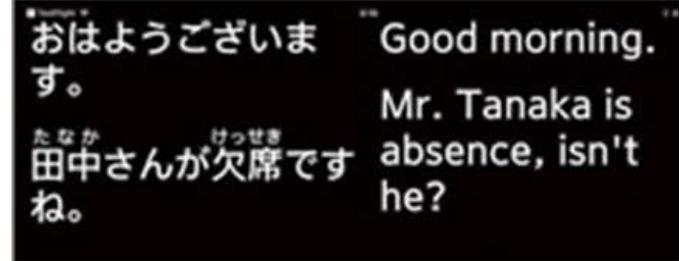


■ 英語が理解できる 44.0%

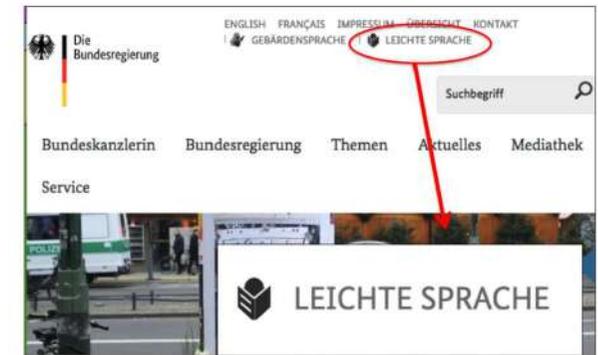


■ 中国語が理解できる 38.3%

漢字圏以外の外国人材は総じて漢字の読み書きが苦手。社内資料（日本語）をそのままでは読ませるのは酷です。「やさしい日本語」は共通言語の現実解として、自治体インバウンド職場、コンビニ等ですでに広まっています。



ドイツの首相官邸サイトには「やさしいドイツ語」



（「やさしい言葉」）

ホームページ上でのナビゲーションに、「LEICHTE SPRACHE（やさしい言葉）」のリンクがあります。このリンクには本を開いて読んでいるアイコンが添えられ、初學者にも分かりやすく書いてあるというイメージを与えています。独語、英語、仏語、手話とやさしいドイツ語で情報発信

※企業は共通言語の選定をまず第一に検討しなければいけません。やさしい日本語は日本国内に閉じた職場に向けたソリューションです。グローバル対応をするのであれば共通言語は英語とし、覚悟して使っていく必要があります。

MATCHA エリア インタレスト トラベルチップス 検索 ログイン

Official Accounts

- 日本語
- English
- 中文繁體
- ภาษาไทย
- 한국어
- 中文简体
- Indonesian
- Việt Nam
- やさしい日本語
- Español

やさしい日本語

データマーケティング入門書

「こんな記事を読みたい」リクエストを送って

日本の秋のレジャー「紅葉狩り」の楽しみ

日本のことば事典「紅葉狩り」

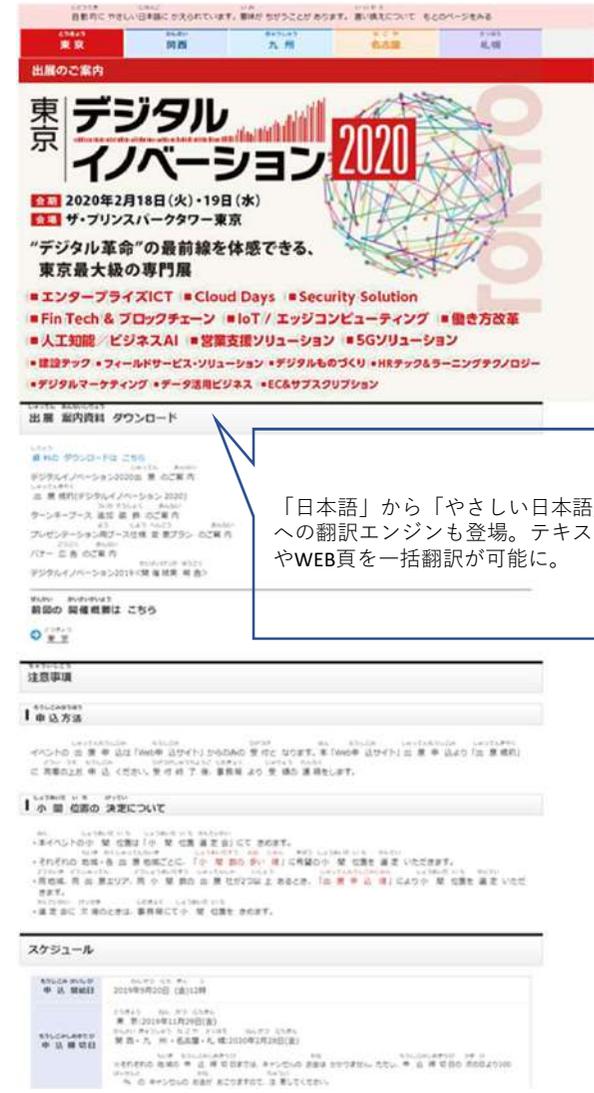
多言語のひとつとしての「やさしい日本語」インバウンド向けサイト「MATCHA」より。10ヶ国語のうちの一つが「やさしい日本語」在住外国人の国内旅行先選びにも好評

2012年→2019年 オリンピック招致に成功してからこれだけ変わった④

「やさしい日本語×AI翻訳」に総務省、地方自治体、NICTも注目
日本語⇒やさしい日本語 への一括変換エンジンが登場



総務省発行の多文化共生事例集の最初の項目で「やさしい日本語と多言語の活用事例」が紹介されています



「日本語」から「やさしい日本語」への翻訳エンジンも登場。テキストやWEB頁を一括翻訳が可能に。



「AI翻訳アプリ+やさしい日本語」を研修サービスとして提供する会社も登場。AI翻訳機の翻訳結果があなたの話す日本語によって変わること実際に体験してもらいます。対訳日本語の必要性がここで理解されます。

伝えるWEB (アルファサード) <https://tsutaeru.cloud>
貴社ホームページで「日本語⇒やさしい日本語」への一括変換をお試しあれ (無料)

主催社からのメッセージ

最初の一歩は、CLO（Chief Language Officer）の選任と部署横断のプロジェクトチーム結成から

1. 外国人を雇用すると決めたら、受け入れ体制・外国人コミュニケーションインフラ構築のため、オフィス移転プロジェクトと同じように多部署で構成されるプロジェクトチームを結成が必要

共通言語をもとにしたITツールを導入するには、情報システム部だけでなく、人事部の採用部門・研修部門、グローバル事業推進部、CSR・ダイバーシティ推進部、多言語マニュアル制作部門（マーケティング/広報部門）、経営企画部との協力や経営トップのコミットが不可欠です。

2. CLO（Chief Language Officer）を期間限定で置く。社内共通言語を念頭に社内コミュニケーション環境を点検&見直し（CLOまたは、CLLO Chief Language & Learning Officer）

外国人社員向けのコミュニケーション環境改善、言葉の壁をなくした内なるグローバル化推進することが主務。ホームページの多言語化と、社内の共通言語改革、社内制度改革、翻訳プラットフォーム導入、多言語IT、翻訳アプリ選定・導入・運用、共通言語をもとにした社内資料作成ルール改定等を担当。多岐に渡る部署との調整、分担を推進するためには、権限を持たせた上で内なるグローバル化推進が必要。起動に乗れば、CSR・ダイバーシティ推進部に業務を移管して定期的に点検をする体制に。

3. 外国人コミュニケーションインフラ構築はパートナー 企業のコア・コンピタンスを理解して選ぶ

日本には、外国人コミュニケーションインフラ構築はマーケットとしては発展途上のため、専門のコンサルタントはほとんどいません。発注先のパートナー企業が、外国人材採用に強い会社か、ICT導入に強い会社か、語学に強い会社か、研修プログラムに強い会社か、外国人の労務管理に強い会社か、見極めが必要です。ユーザー企業担当者が自社の課題と目的を整理し、サービスを組み合わせてコミュニケーションインフラ構築を構築していく必要があります。将来的には「外国人コミュニケーションインフラ構築コンサルタント」市場が立ち上がることが期待されています。



4. AI翻訳機・アプリは誤解・落とし穴がつきもの。企業利用の場合、スマホ購入時と同様に初期設定では使わないこと、職場の外国人受入研修とセットでのAI翻訳機使い方研修実施が大切

社員の手渡る前にすべきこととして、業界辞書設定や社員名などのカスタム辞書登録、社員向けに使いなしい研修までは必要なセットと考え、入念に準備した上で導入をしてください。そのためにはAI翻訳機はネット販売・量販店で買うことはオススメできません。外国人受入に成功している会社は、AI翻訳ツール選びにおいて、落とし穴をさけて正しい導入・運用をしています。「対訳日本語」での発話研修することで利用満足度は格段にあがると考えられます。

5. 「通訳・翻訳テック」と「ランゲージテック」外国人コミュニケーションインフラには両輪が必要

今、目の前にいる外国人材とのコミュニケーションに必要なリアルタイム翻訳のサポートをする通訳・翻訳テック、日本人社員、外国人材の語学学習のために必要なランゲージテック、外国人コミュニケーションインフラの整備には、その両輪が必要です。社員が自発的に語学学習に取り組める体制づくりは人事制度改革、研修制度改革とあわせて実施することが大切です。

開催概要

**デジタル
イノベーション 2020**

■ **インバウンド／観光ソリューション2020**

関西 : 2020年5月28日 [木]・29日 [金] **グランフロント大阪**

九州 : 2020年6月 9日 [火]・10日 [水] **福岡国際会議場**

札幌 : 2020年7月 1日 [水]・2日 [木] **ロイトン札幌**

■ **前回参考**

公式サイト & 公式ガイド (展示会場マップ・セミナースケジュール等)

関西 <https://expo.nikkeibp.co.jp/dinv/osk/>
<https://expo.nikkeibp.co.jp/dinv/osk/files/guidemap.pdf>

九州 <https://expo.nikkeibp.co.jp/dinv/kys/>
<https://expo.nikkeibp.co.jp/dinv/kys/files/guidemap.pdf>

札幌 <https://expo.nikkeibp.co.jp/dinv/spr/>
<https://expo.nikkeibp.co.jp/dinv/spr/files/guidemap.pdf>

簡易版企画書

デジタルイノベーション2020
インバウンド/観光ソリューション
 Revitalizing inbound workplaces through AI Translation Innovation

出展のご案内

レガシー伝承
 AI 通訳
 新テックビジネス
 3兆円市場

全国3都市で開催

関西	2020年5月28日 [木]・29日 [金]	グランフロント大阪	出展枠数 5,000人
九州	2020年6月9日 [火]・10日 [水]	福岡国際会議場	出展枠数 4,000人
札幌	2020年7月1日 [水]・2日 [木]	ロイトン札幌	出展枠数 3,000人

<https://nkbp.jp/d-inov> 日経BP

<https://nkbp.jp/d-inov>

スポンサープラン割引セット料金

セットプラン	3展セット	2展セット
	レビュー1回 (8月下旬)	レビュー1回 (8月下旬)
プラチナ	1050万円	800万円
ゴールド	750万円	550万円
シルバー	380万円	280万円

※割引セット料金の適用は2020年2月28日(金)までにお申し込みの場合に限ります。



スポンサープラン

関西 / 九州 / 札幌			
メニュー	プラチナスponsor	ゴールドスponsor	シルバースponsor
価格(消費税別)	450万円	300万円	150万円
展示ブース	6小間	4小間	2小間
セミナー	200名会場 40分	100名会場 40分 80名会場(札幌のみ) 40分	100名会場 40分 80名会場(札幌のみ) 40分
社名ロゴ掲載	公式サイト、公式ガイド、会場バナー	公式サイト、公式ガイド	公式サイト
レビュー掲載(web)	日経 xTECH Specialレビュー (IT、製造、建設よりカテゴリ選択)	日経 xTECH Specialレビュー (IT、製造、建設よりカテゴリ選択)	—
レビュー掲載(雑誌)	4色2ページ 2誌 日経コンピュータ/日経NETWORK/ 日経ものづくり/日経エレクトロニクス ※上記4誌から2誌選択	4色1ページ 2誌 日経コンピュータ/日経NETWORK/ 日経ものづくり/日経エレクトロニクス ※上記4誌から2誌選択	—

ブースの施工・装飾について

事務局の許可なくブースの仕様変更はできません。関西・九州・札幌では6小間以上の出展の場合、事務局指定業者の施工によりブースを仕様変更することができます。ブースの仕様変更及び備品の追加、モニタなどのAV機器のレンタル・取り付けについては事務局までお問い合わせください。(注)事務局指定業者以外でのブースの施工・装飾はできません。



スポンサープラン メニュー解説

展示ブース



セミナー

各スポンサーに応じた規模の会場で、40分1枠の講演を実施いただけます。受講者リストをご提供します。

※受講者リストは展示会終了の10日後を目処にデータをご提供いたします。イベント開催前にはご提供できませんのであらかじめご了承ください。

社名ロゴ掲載

公式サイト、公式ガイド、展示会場内バナーで企業ロゴを掲出します。※プラチナ・ゴールド・シルバー各スポンサーごとに掲載先が異なります。

レビュー掲載先(WEB)

日経 xTECH

技術革新や技術による事業変革に関心のある全てのビジネスリーダーに向けた、2018年2月に誕生した新デジタルメディア。IT、ものづくり、建築・土木など、120名を超える専門記者が総力をあげて取材。ビジネスと技術の「境界(クロス)領域」で起こるイノベーションの最前線を伝えます。

●登録会員：約220万人 ●月間PV：約2,200万PV



レビュー掲載先(雑誌)

日経コンピュータ



ITプロフェッショナルのための「No.1」総合情報誌
2016年 ABC部数
23,895部

日経ものづくり



製造業の開発・設計・生産を応援する
2016年 ABC部数
18,200部

日経エレクトロニクス



電子・情報・通信技術の総合誌
2016年 ABC部数
20,800部

日経コンストラクション



土木の総合情報誌
2016年 ABC部数
22,465部

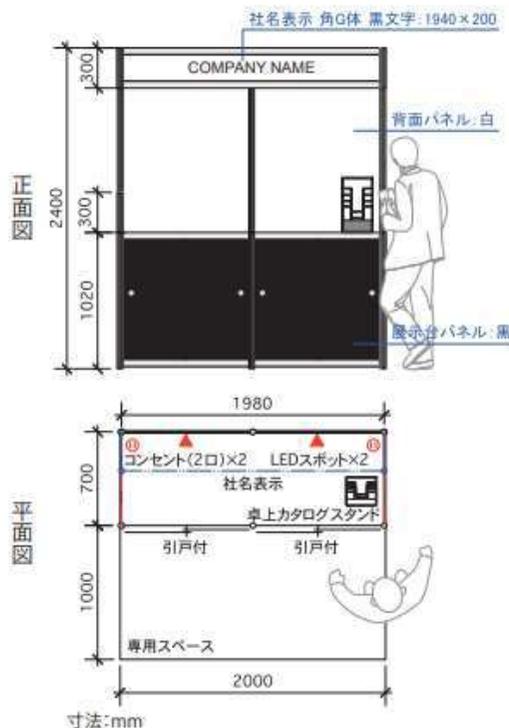


小間出展プラン(全会場共通)

■イメージ



(注) 展示台の前にモノは置けません。



1小間 — ¥ 400,000 間口2m×奥行1.7m

(消費税別) (展示台:幅2m×奥行0.7m×高さ1m)

ターンキーブース (1小間) の仕様

社名表示	統一書体(角ゴシック) / W1950×H200 ※ロゴ使用の場合は別途15,000円(税別)がかかります。 ※プラチナ/ゴールドスポンサーはロゴの使用を含みます。
バックパネル	バックパネル(グレー)
展示台	W2000×D700×H1000(収納付)
卓上カタログスタンド	A4サイズ(3段)×1ヶ
照明	LEDスポット10W×2灯
コンセント	2口コンセント×2ヶ(合計500Wまで)

※PC、モニタは、レンタルまたはお持ち込みでお願いします。
説明パネルの取り付けはサポートします。

※ブース追加装飾をご希望の場合は別途資料をご用意しております。詳細は事務局までお問い合わせ下さい。



セミナー協賛料金

小間出展あり: ¥ 1,000,000 (消費税別)

小間出展なし: ¥ 1,300,000 (消費税別)

■ 会場定員: 100名(関西・九州)

80名(札幌)

■ 講演時間: 40分

■ 会場設備: プロジェクター、スクリーン、PC、マイクセット

■ 付帯サービス: 事前申込受付、会場受付、受講者リスト提供

※受講者リストは展示会終了の10日後を目処にデータでご提供いたします。イベント開催前にはご提供できませんのであらかじめご了承ください。

※セミナーは枠に限りがあります。お早めにお申し込みください。※お申し込みの際にテーマをご選択ください。

プロモーション計画

1. 過去に日経BP主催で開催しているインバウンド展示会や多言語対応のカンファレンスの来場者リスト、事前登録リストを、通常のIT向けプロモーションに加えて実施します。



2. 本展示会独自の無料招待券を作成し送付します。(開催地区限定) (予定)

- ①インバウンド関連(商業施設、流通、運輸、観光業等)宛
- ②職員録をもとに作成した地方自治体 観光/インバウンド/まちづくり担当者宛
- ③技能実習生受け入れの監理団体(厚生労働省認定)宛
- ④法務省 出入国在留管理庁 登録支援機関宛

3. 人手不足に悩む業界・職種向け

展示会「人手不足対策展」 事前登録・来場登録者向け(全業種)

日経コンストラクション・日経アーキテクチュア(工事現場)

日経ものづくり、日経エレクトロニクス、日経Automotive(工場) 日経ヘルスケア(介護/予定)

日経コンピュータ、日経ソフトウェア(IT開発現場/ITエンジニア、プログラマー)等

のメディアがもつメールマガジンを活用します。外国人との職場コミュニケーション環境づくりに悩む方向けに本展示会参加を促します。



もうひとつの企画趣旨

「外国人雇用はどうせ無理」その古い固定観念をぶち壊すために、本展は開催

政府は外国人労働者受け入れ拡大に向けて政策を大きく転換したにも関わらず、日本企業の外国人の採用意欲はあまり高まっていません。マイナビが2018年秋に発表したデータのよれば、人事部門の外国人留学生の採用意欲は、「採用したい」と「採用したいができなかった」を含めてもたった18.7%。80%以上の企業はそもそも採用意向がありません。外国人採用をしない1番の理由は「現場の受け入れ体制ができていない」でした。1992年の日経ビジネスでの編集特集「グローバル人材の幻想」ではグローバル人材を「採れない」「育たない」「活かさない」の三重苦に陥る人事部の苦悩がわかりやすく描かれていました。多くの日本企業は、過去に内なるグローバル化や外国人雇用に挫折した“傷”があります。

しかし2013年、オリンピック招致成功を境にしたこの6年で時代は大きく変わっています。

- ①インバウンドのビッグウェーブの到来
- ②外国人労働者の増加（人口減少を背景とした外国人材への期待）
- ③AI翻訳革命
- ④共通言語になる「やさしい日本語」の登場と自治体・インバウンド職場での普及

受け入れ体制の1番のネックとして捉えられている「外国人との対話」へのソリューションを知らないためか、多くの企業では社内の外国人コミュニケーションインフラ改善が後回しになっています。ここには課題改善のための大きなビジネスチャンスがあります。企業が、日本が、経済成長をし続けるためのポイントはここにあると考えます。

「うちの会社は外国人の職場受入なんてどうせ無理」「どうせすぐやめるから無駄」その古い固定観念をぶち壊すために、本展は実施します。「どうせ無理」と決めつけている担当者が、他社の成功事例や「共通言語」「やさしい日本語」「AI翻訳×対訳日本語」といった知らなかったノウハウを知ることによって、外国人コミュニケーション環境改善に取り組むきっかけをこの展示会で提供して参ります。出展社様には多くの成功事例、サービスを展示会来場者にアピールをしていただければ幸いです。

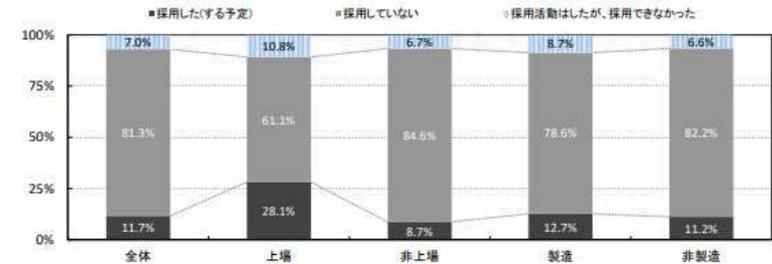
マイナビ2018年11月発表「企業新卒内定状況調査」外国人留学生の採用の目より

外国人留学生の採用

■本年、外国人留学生を採用したか

	全体	上場	非上場	製造	非製造
採用した(する予定)	11.7%	28.1%	8.7%	12.7%	11.2%
採用していない	81.3%	61.1%	84.6%	78.6%	82.2%
採用活動はしたが、採用できなかった	7.0%	10.8%	6.7%	8.7%	6.6%

■本年、外国人留学生を採用したか



※業界大分類別

	建設	製造	商社	小売	金融	マスコミ	ソフトウェア・通信	サービス・インフラ	官公庁・公社・団体
回答数	299	646	977	142	131	130	297	620	94
採用した(する予定)	6.4%	15.6%	10.3%	14.8%	7.6%	13.1%	13.5%	11.9%	-
採用していない	89.6%	73.5%	84.9%	76.1%	87.8%	80.8%	76.1%	81.6%	97.9%
採用活動はしたが、採用できなかった	4.0%	10.8%	4.8%	9.2%	4.6%	6.2%	10.4%	6.5%	2.1%

■2020年卒採用で外国人留学生の採用予定があるか

	全体	上場	非上場	製造	非製造
採用する予定	10.7%	26.8%	7.9%	13.4%	9.5%
検討中	28.8%	37.9%	26.4%	29.3%	27.6%
採用予定はない	60.4%	35.3%	65.7%	57.3%	62.9%

※業界大分類別

	建設	製造	商社	小売	金融	マスコミ	ソフトウェア・通信	サービス・インフラ	官公庁・公社・団体
回答数	299	641	373	141	129	129	296	624	93
採用する予定	5.4%	17.2%	8.0%	13.5%	5.4%	5.4%	14.2%	10.3%	-
検討中	26.4%	30.6%	26.0%	31.9%	22.5%	29.5%	30.7%	30.1%	5.4%
採用予定はない	68.2%	52.3%	66.0%	54.6%	72.1%	65.1%	55.1%	59.6%	94.6%

■外国人留学生を「採用していない」または「採用予定がない」理由

	全体	上場	非上場	製造	非製造
外国人が活躍できる環境が整っていないため	43.2%	34.5%	44.5%	43.0%	43.7%
求職の受け付け体制が整っていないため	43.8%	39.6%	43.8%	46.9%	41.8%
ビザの申請など、手続きが困難なため	14.6%	8.6%	13.6%	10.5%	14.3%
求めている人物像の人がなかなかいないため	10.0%	16.2%	9.9%	10.5%	10.6%
母国語レベルの日本語能力を求めているため	24.7%	29.4%	24.3%	22.9%	25.8%
定着が難しいと思うため	19.8%	18.8%	20.9%	23.4%	19.4%
特に必要性を感じないため	28.6%	28.4%	30.5%	31.7%	29.5%
採用単価が高いため	0.9%	-	0.9%	0.3%	1.1%
その他	7.2%	6.1%	6.7%	5.4%	7.1%

出展社
募集中

テクノロジーには外国人コミュニケーション インフラの課題を“解決する力”がある



出展対象製品・サービス

訪日外国人接客・通訳サービス

多言語クラウド通訳、多言語対応AIチャットボット、音声翻訳機、AI通訳機、AI通訳機&対訳日本語使いこなし研修

グローバルマーケティング

グローバル戦略支援、インバウンド集客支援、海外SNS活用支援
越境ECコンサルティング、特定国マーケティングコンサルティング、
[2020東京大会]ホストタウン向け応援サイト作成

外国人コミュニケーションインフラ

外国人材・スタッフ労務管理システム、日本語eラーニング、外国人材向け共通言語、母国語でのイントラネット・アプリ運用支援
外国人材向け利用可能なユニバーサル機器(音声ガイド、リアルタイム字幕配信等)、読み仮名(ルビ)振りソフト、議事録システム
音声の見える化システム、外国人材向け多言語運用マニュアル作成支援

B to B 通訳・翻訳技術関連(ハードウェア、ソフトウェア)

音声認識・音声合成、翻訳品質向上、業界専用辞書、やさしい日本語化翻訳エンジン、観光型MaaS/訪日外国人向けポータルサイト向け専用アプリ・ソリューション、企業向け翻訳辞書カスタムサービス、ローカライズ

※本展示会は「IoT/エッジコンピューティング」
「人工知能/ビジネスAI」等のICTイベントを併催

多言語WEBサイト制作・運用支援

多言語Webサイト制作・運用管理、翻訳システム・API、法律/知財/医療/医薬/介護/IT/建設/IR/災害対策等の産業翻訳

施設・店舗/交通事業者/自治体向けICT

無線LANインフラ構築、デジタルサイネージ、多言語対応プリンタ
多言語制作支援サービス(映像、ポップ、メニュー、案内板等)
海外通貨決済サービス、免税システム、地域仮想通貨

外国人コミュニケーションテック



※対訳日本語：通訳・翻訳することを前提とした日本語
①主語を入れる ②簡潔な言い回しなど。訓練・慣れによりAI翻訳精度は大幅に向上。

問い合わせ先・申込方法



出展申込と注意事項

下記のURLの「Web申込サイト」より「出展規約」に同意の上お申込ください。受付完了後、事務局より受領のご連絡をさせていただきます。

<https://nkbp.jp/d-inov>

申込方法

本イベントの出展申込は「**Web申込サイト**」からのみの受付となります。

小間位置の 決定について

- ・本イベントの小間位置は「小間位置選定会」にて決定します。
- ・各地域・各出展エリアごとに、「**小間数の多い順**」にご希望の小間位置を選定いただけます。
- ・同地域、同出展エリア、同小間数の出展社が複数ある場合、「**出展申込順**」により小間位置を選定いただけます。
- ・選定会にご欠席の場合は、事務局にて小間位置を決定いたします。



スケジュール

■ **申込締切日** 関西・九州・札幌:2020年2月28日(金)

※各地域の申込締切日までは、キャンセル費用はかかりません。ただし、申込締切日の翌日より100%のキャンセル費用が発生しますので、ご注意ください。

■ **小間位置選定会** 関西・九州・札幌:2020年3月25日(水)午後
(出展社説明会)

■ **申込開始日** 2019年9月20日(金)12時

お問い合わせ先

日経BP ITイベント事務局

〒105-8308 東京都港区虎ノ門4-3-12

TEL (03) 6811-8083

E-Mail : d-inov@nikkeibp.co.jp

**展示会 企画ゾーン「外国人コミュニケーションインフラ」を追加検討中（2020年秋 東京開催）
開催を希望する会社が20社以上となった場合に実施します**

展示会企画ゾーン「外国人コミュニケーションインフラ」（仮）

2020年10月14日～16日 東京ビッグサイト西ホール xTECH EXPO内の展示会
ゾーン企画として開催。開催希望会社が20社以上ある場合に追加で実施いたします。
開催を希望する企業は、2020年2月28日までにお知らせください。

■開催概要（2019年参考 280社で東京ビッグサイト西ホール前回は使い開催/同時開催展含む）

総称	日経 xTECH EXPO 2019 https://expo.nikkeibp.co.jp/xtech/ex/
主催	日経BP
後援	総務省、経済産業省
協力	日本経済新聞社、テレビ東京
同時開催	エンタープライズICT 2019 クラウド Impact 2019 Security Solution 2019 人工知能/ビジネスAI 2019 FinTech & ブロックチェーン 2019 IoT Japan 2019 デジタルものづくり 2019 建設テック 2019 働き方改革 2019 HRテック&ラーニングテクノロジー 2019 デジタルドキュメント 2019 （主催：公益社団法人 日本文書情報マネジメント協会／共催：日経BP）
協力媒体	日経 xTECH、日経コンピュータ、日経SYSTEMS、日経NETWORK、日経エレクトロニクス、日経ものづくり、日経Automotive、日経アーキテクチャ、日経ホームビルダー、日経コンストラクション、日経FinTech
会期	2019年10月9日（水）～10月11日（金） 10:00～17:30
会場	東京ビッグサイト 西1-4ホール/会議棟
入場料	入場料：3,000円（消費税込、招待者・事前登録者は無料）

関連展示会
ご紹介

人事部・管理部門向け展示会 「ヒューマンキャピタル2020」内に 「英語・グローバル人材・外国人材ゾーン」



No	出展社名	出展ゾーン
1	アシストマイクロ	英語・グローバル人材・外国人材ゾーン
2	アルケ	英語・グローバル人材・外国人材ゾーン
3	WizWe	セミナー
4	イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン	英語・グローバル人材・外国人材ゾーン
5	ウィルグループ	英語・グローバル人材・外国人材ゾーン
6	エフエージェイ	英語・グローバル人材・外国人材ゾーン
7	ATDインターナショナルメンバーネットワークジャパン	セミナー
8	エナジャイズ	HRテクノロジーゾーン
9	RecRight.com	HRテクノロジーゾーン
10	外国人雇用協議会	セミナー
11	グローバル人事塾	
12	グローバルトラストネットワークス	
13	グローバルパー	
14	恵学社/English Company	
15	goFLUENT	
16	千駄ヶ谷日本語教育研究所	
17	吉岡教育学園 千駄ヶ谷日本語学校	
18	夢ネットワーク	
19	応用日本語教育協会	英語・グローバル人材・外国人材ゾーン
20	サイコムブレインズ	教育・研修・人材テクノロジーゾーン
21	The Japan Times Academy / アイベック	教育・研修・人材テクノロジーゾーン
22	ゼスト	採用支援・人材紹介ゾーン
23	セブン銀行	総務・経理・ビジネスシステムゾーン
24	日経HR	英語・グローバル人材・外国人材ゾーン
25	日本経済新聞社	英語・グローバル人材・外国人材ゾーン
26	日経FTトレーニング (日本経済新聞社)	
27	パソナ JOB博	英語・グローバル人材・外国人材ゾーン
	ヒューマングループ	教育・研修・人材テクノロジーゾーン
28	ヒューマンアカデミー	教育・研修・人材テクノロジーゾーン
29	ヒューマンリソシア	教育・研修・人材テクノロジーゾーン
30	ヒューマングローバルコミュニケーションズ	教育・研修・人材テクノロジーゾーン
31	産経ヒューマンラーニング	教育・研修・人材テクノロジーゾーン
32	ヒューマングローバルタレント (旧社名ダイジオブ・グローバルリクルーティング)	教育・研修・人材テクノロジーゾーン
33	日本ベトナムITビジネス推進協議会	英語・グローバル人材・外国人材ゾーン
34	HBLAB JAPAN	英語・グローバル人材・外国人材ゾーン
35	TMR Group	英語・グローバル人材・外国人材ゾーン
36	ベネッセキャリア	英語・グローバル人材・外国人材ゾーン
37	明睛インターナショナル	英語・グローバル人材・外国人材ゾーン
38	UD Talk	英語・グローバル人材・外国人材ゾーン
39	Yolo Japan	採用支援・人材紹介ゾーン
40	Rakuten Super English (楽天)	教育・研修・人材テクノロジーゾーン

ヒューマンキャピタル2019年出展社
関連分野では40社がソリューション展示 & 講演 日本語学校が3校 出展

前回2019年企画書
ルビ入りに注目を

人事部採用部門や研修部門への訴求・PRをしたい会社はこちらの展示会出展をあわせてご検討ください。 <https://expo.nikkeibp.co.jp/hc/exhibit/2020/>
2020年5月27日(水)～5月29日(金) 東京国際フォーラム ※弊社主催「デジタルイノベーション関西」と開催日程は重なります。

すごい事例 募集中

「職場の受け入れ体制ができないので、外国人雇用はどうせ無理」「どうせすぐやめるので無駄」外国人雇用において過去に挫折経験をもつ経営者や人事部採用担当、研修担当者の“心を動かす”、すごい事例を募集します。

ラグビーワールドカップ報道で知ったキャプテンのリーチ・マイケル氏の日本・日本人に対する姿勢、行動は感動的でした。外国人の日本代表メンバーにも、日本代表として団結することの大切さを説き、合宿では必ず全員で君が代を練習する。国歌“君が代”にも登場する、さざれ石が祀られている宮崎県日向市・大御神社に、リーチ氏の発案で代表メンバーとともに訪問する。五郎丸氏はそうしたリーチの行動を見て、「日本代表なのに外国人なんておかしい」という自分の考え方を改めたというエピソードを語っていました。リーチ氏の言動には多くの日本人がぐっときたはずです。私達は日本人と外国人が混ざりあった「One Team」が躍進する姿が目にと焼き付いています。

「つきあい方しだいで外国人とも一緒にやれそうだ」「リーチ氏みたいな外国人社員が採用できるならプロジェクトごと外国人に任せることを考えてもいいのかもしれない」そうした感慨をもつ経営者が、ラグビーワールドカップ自国開催を経て、大幅に増えていると推測しています。そう考える経営者の琴線にふれると自負する「内なるグローバル化推進するためのすごい事例」を募集要項を確認の上でお知らせいただきたく存じます。

■募集要項

- ・ユーザー事例の募集であり、ベンダー自身のソリューション紹介、商材紹介は募集していません。
- ・詳細確認のため、取材させていただく場合がございます。
- ・講演依頼をする場合がございます。（主催社枠・協賛枠とも）
- ・日経グループのメディア（日本経済新聞、日経電子版や日経ビジネス、x TECH等）の担当記者に事例を紹介する場合がございます。
- ・提出期限：2020年2月28日 下記の企画担当者メールアドレス宛へ
- ・自薦他薦は問いません。ただしユーザー企業の担当者情報もお知らせください。

「オリンピック招致が決まって世の中変わった。こんなAI翻訳ツールがあるなら外国人社員が喜ぶか試してみたい」「もう1回、外国人雇用にトライしてみよう」「その手があったか！」
“すごいサービス”、成功している他社の導入事例を知ること、外国人雇用に再チャレンジする会社が増やすことが目的の企画となります。

不明点、お気軽にお問い合わせください。

●企画担当：日経BP イベント事務局 イベント企画部
丸山 史郎 shmaruya@nikkeibp.co.jp
090-7707-4564（直通）